

異常気象に対応・温暖化に強い即効性と持続性！高成分資材！

(費用対効果好評)

元気根っこ SB7

松・桜・他全樹木植物の根の活性により免疫力が向上
免疫力向上により樹勢強化で各環境害に強い

目的に合わせた菌の生産物を独自超高濃縮培養にした成分を根が吸収。根に必要な共生菌（菌根菌等）を殖やし根が活性し免疫力が上がり、抵抗力も増し、新しい根を出し元気な各環境害に強い根と幹のバランスの良い植物を育てます。
(長年の実績又試験データは一部HPで公開しています)

結果は各現場での20年以上の実績と実例が示しています！
ゴルフ場、天然記念物の樹木、名所の松林、桜、庭園、多種樹木他。

(財)兵庫産業活性化センター推奨

登録番号 生第 91899

改良を重ね強力になって好評！

- 樹木植物を強い根と幹にし、元気で綺麗な樹形に。
- 多数の衰弱した松桜多種樹木の老木が元気に。
- 土の透水性・通気性が向上、同時に土壌改良も。
- 苗木、移植木の活着率強と強い苗木に。軟弱徒長軽減。
- 不定根強、健全な強い白い毛根が増える。
- 塩害木が元気で綺麗な本来の樹形に（多種樹木も同様）
- 屋上植物の根がはり徒長せず管理が容易に。
- 根の活性で花咲が良くなり花壇全体が健康に。
- 根圏微生物増、シロのある場所はマツタケが増えた。
- 減農薬。植栽時の活着に。費用対効果で経費の削減等。

● T/R 比試験



無処理・処理区

◎ 各樹木植物の「幹と根を理想のバランス」にする作用の結果。



安全資材で川沿でも散布
桜各樹木の老木が活性！

■ 根の衰弱から起こる害、葉ふるい等、各害などで衰弱した松が、根の活性により免疫力向上で樹勢が元気になった一例。 現在も良好、以降全重要松毎年散布。



2015年1月散布

2015年5月良好

注：古い葉を入替え、新芽、新緑が出て元気。
全松樹木が元気になったOゴルフ倶楽部

■ 15年以上毎年散布で、免疫力が上り年々樹形、色も綺麗な松・各樹木のコースとなっている。
(綺麗なコースを保つSゴルフ倶楽部)

(一例)



2000年5月



2016年10月良好



原液見本

衰弱時、移植時、育苗時他、活根作用で樹木、多植物活性。管理が容易です。[原液濃縮No. A-1]
約50倍以上希釈で肥料農薬との混合作業ができ、効率が良く便利です。(石灰硫黄合剤以外)



日本環境グリーン

Jeg Group は、自然環境、緑の保全に寄与しています。

元気根っこSB7の使用法

原液を50倍から100倍に希釈して散布して下さい。(屋内、屋外年中散布OK)
(使用適期) 凍結時以外。松は毎年散布、強衰弱の場合は約2~3カ月後等状態を見て再度散布。

- 全樹木・植物に年中使用できます。
- 衰弱木に使用する時。季節、時期を選びません。(早期に)年に2~3回(規定量)衰弱度による。
- 回復後は年1回の土壌散布。



散布範囲

(希釈し根があると予測できる場所全体に撒く)

1. 使用量* (他の草花等軟弱植物は500倍以上不問)
樹木の胸高直径を測定し『元気根っこSB7』の使用量を決めます。
年1回散布する場合: 胸高直径1cmあたり25cc(20cmの松/500cc)
(大木基本例: 直径10cm増える毎に、原液250ccを増やす)

2. 使用方法 (主に毛根から作用するため根全体に散布)

- ①木の健康状態をチェックして下さい。
- ②胸高直径より使用量を定め、水で50倍—100倍(季節による)希釈し、根があると予測する範囲又根の有る場所全体に散布。
※特に春から夏の気温の高い時期は100倍。

■標準使用量 (注意) 松、桜、多種樹木、原液10ℓ缶×2缶での使用量。 *根が交差するほど液量、費用は少なくなります。

直径	1本の原液使用量	1本に対して(100倍希釈例)	10ℓ×2缶で使用できる本数
20cm	500CC	50ℓ	40本
30cm	750CC	75ℓ	27本
40cm	1000CC	100ℓ	20本
50cm	1250CC	125ℓ	16本
60cm	1500CC	150ℓ	13本
70cm	1750CC	175ℓ	11本
80cm	2000CC	200ℓ	10本
90cm	2250CC	225ℓ	9本
100cm	2500CC	250ℓ	8本

直径	1本の原液使用量	1本に対して(100倍希釈例)	10ℓ×2缶で使用できる本数
20cm	約400CC	約40ℓ	約50本
30cm	約625CC	約62.5ℓ	約32本
40cm	約800CC	約80ℓ	約25本
50cm	約1050CC	約105ℓ	約19本
60cm	約1250CC	約125ℓ	約16本
70cm	約1530CC	約153ℓ	約13本
80cm	約1660CC	約166ℓ	約12本
90cm	約1810CC	約181ℓ	約11本
100cm	約2000CC	約200ℓ	約10本

●通常散布: 通常は各計測器にて、希釈液を各直径を参考に、上記表(単独木と根が交差の林地)規定量に合わせて散布。

●計測機が無い連続散布の1例: ポイントは噴出し量を把握する。

- 1: 使用タンク車・動機の圧力を決め、対象タンク(ℓ)水が何分秒で出るかを計ると、各1本の直径の散布量基準が出ます。
- 2: (100倍の例)直径20cmの樹木の場合、噴出し量が30秒で50ℓの場合は20cmで30秒散布となる(時計等で測る)

■植物の目的に適した主成分を特殊製法で超濃縮・強力・安定化させ、根と幹に必要な肥料を極少量配合。

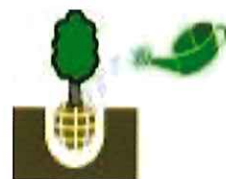
『元気根っこSB7』使用上の注意

- ☆肥料分は少量の為、各種植物に合わせて足して下さい。
- ☆灌水は平常通り行なってください。
- ☆年中使用できますが、外見から効果が見良い時期は初春から初秋です。
- ☆保存は、直射日光をさけ、涼しいところに置いてください。
- ☆開封後は、日陰に保存する事で約1年でも成分は変わりません。(未開封の場合、約3年間は保存できます。)
- ☆散布後はなるべく流れない事が理想で、斜面は上範囲に多めに。
- ☆成分が沈殿することがありますので、使用前には振って下さい。
- ☆目等に入った場合はすぐ洗い流して下さい。
- ☆本品は活性材ですので、虫害の場合は農薬の使用もおすすめします。

■即効性と持続性の実現!

(移植時の使用方法)

- 移植木を穴に立て、覆土する前に散布。又は移植後根に浸透するよう散布。



●移植は根全体に浸透する量で良い。(移植後活着抜群)

●活着が弱い場合は再度散布。

- 山林等で水がない場合は原液を散らすように散布してください。(雨により浸透するまで待つ)
- 育苗は、100-200倍希釈してください。

3. 散布後

約2~3ヶ月で樹木全体に吸収されます。衰弱している時は5ヶ月以上かかる場合もあります。※松ではヤニが出ない物には効果は期待できません。

内容(概略)

登録番号	生第91899号
肥料の名称	元気根っこ
保証成分量(%)	水溶性リン酸 1.2 水溶性加里 1.9
元気根っこオリジナル濃縮培養成分	
発売元	有限会社日本環境グリーン
本社	兵庫県洲本市千草甲30
T E L	0799-26-3133
H P	http://jcg.main.jp/
E-mail	jcg@fork.ocn.ne.jp

▲「石灰硫黄合剤」と混合すると、有毒ガスが発生する恐れがあり、危険ですから混用は行わないこと。

取扱店